

第6学年 国語科学習指導案

6年 28名

指導者 花野 梓

1 単元名 筆者の主張を捉え、自分の生き方について考えよう

『時計の時間と心の時間』（光村図書 6年）

2 本時の活動

(1) 目標 ①活動目標

「時間とのよりよい付き合い方とはどういうことか」考えよう。

②指導目標

筆者の主張を捉え、それをどのように自己の生き方へ取り入れていくか、自分の考えをもつことができる。

(2) 展開

学習活動	主な指導・支援	具体的評価規準
1 本時の学習課題をつかむ。 <div>心の時間の進み方は速いほどいいのだろうか。</div>	1 前時までの学習をふり返り、筆者の主張を確認できるようにする。	
2 話し合う。	2 本時の学習課題に関連する問いをもった子どもから発言させ、全員で話し合いができるようにする。 話し合いが停滞した時には、座席表をもとに教師から指名をしたり、質問をしたりする。 話し合いの流れが分かるように板書する。	○文章を読んで理解したことに基づいて、互いの意見や経験の違いに気づき、認め合いながら考えている。 (発言・ノートなど)
3 話し合いを通しての自分の考えをまとめる。	3 友達との対話を通して、自分なりの時間とのよりよい付き合い方を考えさせる。	

(3) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	文章を読んで理解したことに基づいて、互いの意見や経験の違いに気づき、認め合いながら発言したり、聞いたりしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	座席表にそれぞれの学習課題に対する考えを記入しておき、教師から発言を促す声かけをする。